



# 大好き かたびら

TEL 335-5896 FAX 331-5109

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

令和8年5月29日

横浜市立帷子小学校

校長 梅田 佳美

学校だよりNo.3 6月号

## 子どもが主体となって

副校長 加藤沙智子

先日、5月のかたびらサミット(代表委員会)が行われました。特別活動「児童会活動」は、「学校全体の生活を共に楽しく豊かにするために学校の全児童をもって組織する異年齢集団の児童会による自発的、自治的な活動である。運営については主として高学年の児童が行うことになる…」と学習指導要領には記されています。本校でも、毎月、運営委員会の児童を中心に、各委員会の委員長や4～6年生までの学級の代表児童が参加して、話し合いを行っています。

5月は「児童会テーマの内容について、考えよう」という議題で、今年度どんな学校にしたいかみんなで考えました。2年生から6年生までの各学級の意見をもとに、特に「**過ごしやすい学校とは何か**」について話し合いました。

各学級から出てきた意見は、

### 【友達との関わりについて】

みんなが元気で仲がよい、笑顔が増える、誰にでも優しくできる、思いやり、助け合える雰囲気のない学校、暴力がない、相手が嫌がることをしない、仲間はずれやけんか、いじめがない、人によって態度を変えない、ふわふわ言葉が多い、助け合ったり、協力し合ったりできる

### 【あいさつについて】

あいさつができる、多くの人と関わる、会った人に明るく元気に、気持ちよくあいさつができる、相手の目を見て、気持ちを込めてあいさつする

### 【きまりなどを守ることにについて】

ゴミや汚れがなく、きれい、メリハリがある、時間のきりかえができる、何事も自分たちでできる

などでした。

子どもたちが主体となって「**過ごしやすい学校**」について考え、仲間と話し合い、思いや願いをもったことには大きな価値があります。私自身も子どもたちの意見を聞き、「本当にそんな学校にしたい」と心から思いました。特別活動では、子どもたちがその思いや願いを実現するために、自分たちで課題を見出し、解決しようと実践したり、話し合ったりして、自主的、実践的に活動を積み重ねていきます。

今週末開催されるカルガモ運動会もその一つ。子どもたちにとって一年に一度の特別な実践の機会です。仲間と同じ目標に向かって力を合わせるかけがえのない時間は、「よく頑張ったな」「悔しいな」「来年は…を目標にしよう」など様々な思いにつながることでしょう。練習や準備の過程で、多様な仲間と温かな人間関係を育み、自分らしさを思いきり発揮しながら、心も体もぐっと成長しました。5、6年生は係活動にも携わり、準備や運営に力を発揮しています。

さて、今年度の帷子小学校児童会テーマです。

**「大好き かたびら 輝く 笑顔**

**～みんなで力を合わせて、明るく過ごしやすい学校にしよう～**

私たち教職員も、子どもたちの声によく耳を傾け、子どもたちとともに、児童会テーマの実現に向けて学校づくりを行っています。自ら社会とつながり、私たちらしく力を尽くしていきたいと思っています。

カルガモ運動会では、輝く子どもたちの勇姿をどうぞお楽しみください。子どもたちへの温かなご声援をよろしくお願いいたします。